

社会保険労務士稲門会会報

# 都の西北

創刊号

平成 14 年 6 月 13 日 発行：社会保険労務士稲門会  
発行人：小林 昌尚

待ちに待った、社会保険労務士稲門会

**創立総会開催** ～2001年7月6日～

平成 13 年 7 月 6 日（金）、リーガロイヤルホテル早稲田において、会員 72 名が参加し、社会保険労務士稲門会創立総会が開催されました。

創立総会（第一部）は、午後 6 時 30 分から村上芳明氏の司会で開会し、発起人代表福島誠一氏の挨拶の後、設立までの経過報告、議長選出が行われ、堀口利議長の進行のもと、議事審議に入りました。

まず、会則案及び事業計画案が提示され、質疑応答の後満場一致で可決、続いて役員

選考に入り、名誉会長に福島誠一氏、会長に小林昌尚氏、その他役員を選任しました。

引き続き、笠原正利氏の司会で、第二部懇親会に移りました（来賓として早稲田大学安江國浩副総長をはじめ、五つの士業稲門会等のご出席を頂きました）。会長挨拶、来賓挨拶、乾杯の後、歓談に入りました。宴もたけなわとなった頃、石川範行氏の音頭で「都の西北」を斉唱し、稲門会士の結束と稲門会の発展を期して午後 9 時に閉会しました。



※題字は小林昌尚会長の筆によるものです。



## 心のふるさと、早稲田

社会保険労務士稲門会会長 小林 昌尚

母校早稲田の校友から、なぜ社会保険労務士稲門会がないのかという話を耳にしました。そんなこともあって一昨年来、有志ならびに発起人の皆様の大変なご努力により 21 世紀初頭の昨年 7 月 6 日、リーガロイヤルホテル早稲田において創立総会が盛大に開催されました。そして初代会長の大役を仰せつかりました小林であります。微力ですが会発展のため全力を尽くしますのでご指導ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願いいたします。

日頃、稲門会とは何だろうと自問自答してみました。「ミツバチ」や「つばめ」は自分の巣に戻る帰巣性がありますが、人間にも年齢を重ねると生まれた所や育った所へ戻りたい癖があると思います。その私たちが戻りたい所こそ「心のふるさと早稲田」であり稲門会だろうと思います。

早稲田を卒業してそれぞれの道を歩まれま

したが、今ここに社会保険労務士の道で生活をたて社会に貢献されている皆様が再び集う機会ができました。それが社会保険労務士稲門会であります。

お互いに親睦と友情を深め、切磋琢磨して斯業の更なる発展に寄与したいと思います。

会の運営に当たりましては、全国で活躍しておられる社会保険労務士校友にご入会いただき、会員皆様が参加して良かったと思っただけの楽しい会にしたいと考えております。

1882 年に大隈侯が開学した母校早稲田大学も間もなく 125 周年を迎えます。その記念事業にそれぞれの立場で協力し、限らない発展を期待するものであります。

最後になりましたが、校友皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

## 47 万会員と 1,080 の稲門会で

### 「生涯連携のシステム化」を

校友会代表幹事 中嶋 宏



社会保険労務士稲門会の皆様、平素は校友会活動に格別のご支援、ご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

早稲田大学校友会は 1885 年の創立以来、大学とともに順調な歩みを続けており、この一年の間にも組織が拡大し、整備されてきました。今日では生存会員数は 47 万人を超え、登録されている稲門会も合わせて 1,080 を数える一大ネットワークを構築するにいたっております。

今日、大学と校友との心のかけ橋の充実が強く求められており、校友会は 10 年後のあるべき姿を描いて地道な努力を重ねております。

早稲田学報は明治 30 年以來、伝統のかけ橋として正しく歴史の時を刻んできました。

一昨年より表紙をはじめ装いも新たになり、早稲田の現状を理解し、校友の活動状況を知る総合文化誌として、海外発送も行っておりますので、一人でも多くの方々に目を通して頂きたいと切に願う次第でございます。

この後、校友会は校友と大学が一体となった「生涯学習共同体」の構築を目指し、校友の豊かな人生づくりに想いをはせ、「生涯連携のシステム化」というテーマに取り組んでいく所存でおります。

今後とも、校友会に対しご指導・ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と社会保険労務士稲門会のさらなるご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



# ご挨拶

早稲田大学総長 奥島 孝康

社会保険労務士稲門会の皆様には、ご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様が一丸となって稲門会の運営に力を尽くされていることに対しまして、心からの敬意と感謝の意を表します。

さて、本年は総長として任期満了（平成14年11月4日）となる8年目を迎えましたが、残る任期も全力を尽くして職務に専念いたす所存でありますので、引き続き、皆様方の絶大なるご支援のほどを、よろしくお願い申し上げます。

## ■「グローバル・ユニバーシティの実現」めざして■

これまで私たち理事会は、「グローバル・ユニバーシティの実現」というスローガンのもとで、様々な改革に着手してまいりました。それは、早稲田大学は単なる私立大学にとどまらず、志でもって立つ「志立大学」でなければならないからであります。同時に、創立者大隈重信と一心同体であり、早稲田大学に真の命を吹き込んだというべき小野梓先生がつくった大学、つまり、「梓立大学」でもあります。小野梓先生が早稲田大学に託した理想は、三大教旨すなわち「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」に込められております。この三大教旨がめざす方向に21世紀の教育研究を方向づけていくために、「独創的な先端研究への挑戦」「全学の生涯学習機関化」「地球市民の育成」という三つの目標を設定し、これを本学の第二世紀宣言として、2007年に迎える創立125周年に向け

たソフト・ハード両面にわたる抜本的な改革のコンセプトとして、グランドデザインを策定しております。

おりしも本年は、小野梓先生生誕150周年の年にあたり、去る3月の先生の命日に東京・谷中の墓前にて展墓を行ったのをはじめとして、様々な行事を予定しております。本学が小野先生という「原点」に立戻り、改めてその志を世に問うためであります。

## ■「学生のための大学」に向けた大学改革の取り組み■

また、昨年度から「学生のための大学」づくりという目標を改めて大々的に掲げて、大学改革をさらにその方向へ推進していくことを決意しております。

具体的には、昨年125周年記念事業の最初の施設としてオープンした、日本一の規模と装備を備えた学生会館は、早稲田学生文化の創造・発信拠点になるものと確信しております。また、早稲田実業学校が昨年国分寺に移転した跡地を移用した24時間稼働の「早稲田大学研究開発センター」と理工学部隣接地にオープンした「シルマンホール」は、学生あるいは社会人のベンチャービジネス育成の拠点となり、全学の「インキュベーション・オン・キャンパス」化の先駆けとなります。

これに加えて、昨年発足したオープン教育センターに設置する「オープン科目」は、本年度は昨年度の約倍の1,100科目が、全学に開かれております。これにより学部の壁は低くなり、学部教育のリベラルアーツ

化が急速に進むことになるでしょう。

さらに、本年4月より「平山郁夫記念ボランティアセンター」を開設しました。日本で最初に大学として「社会貢献」という目標を「学問の活用」として90年以上も前から「教旨」に掲げた本学としては、今後、この課題に本格的に取り組むことになります。

### ■国際化と情報化の取り組み■

国際化については、外国大学との学術交流協定が、この7年間で29校から300校を超えて、交換留学生も400人近くへと増加させました。

情報化については、学内に1万5千台を超えるPCを設置し、全学の情報環境を大規模校としては日本ではトップ近くまで引き上げました。

### ■ロースクール等の専門大学院の設置とナノ・テクノロジー研究■

さて、本年度の取り組みの重点としては、125周年記念事業のハイライトといえるB棟（8号館跡地）の建設や正門前（第一・第二学生会館跡地）の整備が始まります。

また、教育研究の再編と新規計画については、第一は、スポーツ科学部と国際教養学部（仮称）の再編・新設計画の最終仕上げです。第二は、専門大学院〔公共経営、法科（ロースクール）、金融経済系、環境系の4研究科〕と北九州市に2003年設置を決定した「情報生産システム研究科」とアジア太平洋研究科の「国際経営専攻」と増設を予定する「技術経営コース（MOT）」との専門大学院への衣替え等の申請または申請準備であります。

一方、2000年に発足した「プロジェクト研究所」は現在89に及び、その中から21世紀に本学の志を示す独創的な研究が生まれるものと確信しております。その一つの例が、昨年文部科学省のCOE、すな

わちセンター・オブ・エクセレンス（卓越した研究拠点）に指定されたナノ・テクノロジーであります。このような最高レベルの研究がいくつも学内に芽を出しかけております。

### ■系属校に初等部、海外校を設置■

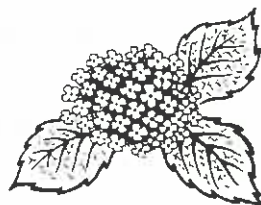
系属校では、本年4月に早稲田実業学校初等部を設置し、104名の児童を早稲田大学の歴史の中で、初めて迎えることになりました。将来早稲田大学の中核を担う学生として期待されます。同時に、従来男子校であった中等部・高等部に女子の新入生を迎えました。また、本年4月より海外校として、シンガポールに「早稲田渋谷シンガポール校」を本学の系属校として発足させ、海外での生活経験をもつ高校生を2005年より受け入れることとなります。

### ■創立125周年に向けてさらなる支援を■

このように、早稲田大学では、創立125周年を迎える2007年をめざして、着実に改革の歩を進めております。そのための教育研究のインフラづくりとして2000年度から開始いたしました「創立125周年記念事業募金」につきまして、多くの皆さま方からあたたかいご支援をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げますとともに、引き続き本学の今後の活躍にぜひともご期待いただき、さらなるご支援ご協力のほどを心からお願い申し上げます。

末筆ながら、社会保険労務士稲門会のますますのご発展と皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたします。

（見出しは編集部で作成しました。）





## 創立総会への燃ゆる想い

名誉会長 福島 誠 一

会報創刊号を出すについて、社会保険労務士稲門会が発足するまでの思い出をとの御要請を受け感慨深いものがあります。

数年前より、他士業にはそれぞれ税理士稲門会、司法書士稲門会、行政書士稲門会及び中小企業診断士稲門会の如く稲門会があり私もそれぞれお誘いを受けて入会させて頂いておりますが、社会保険労務士の士界にも沢山の我が同窓の士がおられるはずと東京会に問い合わせたところ、会員の出身校は記録がないとの回答にあきらめておりました。その後、平成11年秋の中野稲門会に出席し、現副会長の堀口利先生と何とか社会保険労務士稲門会を立ち上げようではないかと相談、思い立って再び東京会に電話したところ、同じ思いを持って行動を起しておられる現副会長の坂井俊一先生に依頼され、稲門先生方の名簿を作成、お渡ししであるとのことでした。すわ意を得たりと坂井、堀口両先生に連絡し、平成12年7月17日、私の事務所で三者会談を

することができました。当夜坂井先生が持参された我が同窓の社会保険労務士は東京会だけで300名以上、大いに意を強くし、また坂井、堀口両先生の知っておられる稲門の先生方も稲門会の設立を望んでおられる方が多数との話、是非とも実現を、と誓い合った一夜でした。その後2回の三者会談の後、平成12年11月8日、第1回発起人会の開催、出席予定の16名、1名の欠席もなく開催され、選ばれた役員方の見込みに幸先の良さを感じました。

続いて月1回のペースで開かれる準備委員会は、坂井、堀口両先生に加え、現幹事長の藤原久嗣先生を始めとして、若手先生方の誠に鮮やかな事務処理、事務計画で着々と進行、遂に三者会談の一夜から1年にして盛大な創立総会を迎えることができました。ご尽力いただいた先生方に感謝の気持ちで一杯でございます。そして、今また着々と事業計画の遂行に進みつつあること、ますます堅固な結束をもって、いつまでも我が同窓の後輩に受け継がれていくことを念じております。



創立総会風景



元応援部キャプテン石川範行氏の音頭で校歌斉唱

## 創立総会までの経過

平成12年7月17日、9月28日

(福島労務管理事務所)

福島、坂井、堀口の三氏による社会保険労務士  
稲門会設立の打合せ

平成12年10月13日 (福島労務管理事務所)  
設立発起人開催の呼びかけ文発送

平成12年11月8日 (中野サンブラザ)

第1回発起人会開催 (16名出席)

- ・会則(案)の検討
- ・設立準備委員会設置を決定

平成12年12月6日 (中野サンブラザ)

第1回設立準備委員会開催

- ・会則(案)の検討
- ・創立総会までの日程、役割分担等審議

平成13年1月23日 (中野サンブラザ)

第2回設立準備委員会開催

- ・会則(案)の検討
- ・創立総会までの日程、役割分担等審議

平成13年2月21日 (中野サンブラザ)

第3回設立準備委員会開催

- ・会則(案)の検討
- ・第一次役員(三役及び幹事、会計監査)候補の決定、事業計画(案)、創立総会までの日程、役割分担等審議

平成13年3月27日 (中野サンブラザ)

第2回発起人会開催

- ・会則(案)の検討
- ・事業計画(案)等の審議、入会申込書の様式、創立総会の日程及び大綱決定

平成13年5月14日 (中野サンブラザ)

第4回設立準備委員会開催

- ・創立総会の日程及び大綱決定

平成13年5月18日

小林氏大学訪問

- ・総長等大学関係者への出席依頼及び早稲田学報への掲載手続き

平成13年6月5日 (ヒューマンテック経営研究所)

事務局担当(藤原)、総務担当(大南、笠原、村上)

事務打合せ(作業)

- ・創立総会案内文、趣意書、会則(案)、入会申込書の四点セット発送(6月6日)
- ・宛名印刷(笠原)、発送作業
- ・郵便局振替用紙口座番号取得(住吉)

平成13年6月22日 (大隈会館楠亭)

第5回設立準備委員会開催

- ・創立総会式次第と役割分担
- ・事業計画(案)
- ・役員候補の推薦と総会での選考方法
- ・当日の準備等について決定

平成13年7月6日 (リ-ガロイホテル早稲田)

創立総会開催

## 役員紹介

役名	氏名	卒年	所属
名誉会長	福島誠一	S11	東京会
会長	小林昌尚	S30	東京会
副会長	坂井俊一	S36	東京会
副会長	堀口利	S29	東京会
幹事長	藤原久嗣	S40	東京会
幹事	荒木靖男	S36	熊本会
幹事	大南弘巳	S51	東京会
幹事	小笠原浩之	S59	秋田会
幹事	笠原正利	S47	埼玉会
幹事	神谷俊夫	S48	群馬会
幹事	酒井健爾	S43	東京会
幹事	重森芳昭	S58	大阪会
幹事	白岩洋一	S60	東京会
幹事	鈴木隆	S47	東京会
幹事(会計)	住吉忠男	S36	東京会

役名	氏名	卒年	所属
幹事	関口光英	S59	埼玉会
幹事	田口紘一	S41	東京会
幹事	寺島隆	S42	東京会
幹事	常盤有美	S42	東京会
幹事	中島浩喜	S52	愛知会
幹事	永山恭一	S48	神奈川会
幹事	藤野弘	S40	福井会
幹事	古野利明	S35	東京会
幹事	古谷仁	S60	東京会
幹事	村岡功	S53	埼玉会
幹事	村上芳明	S41	東京会
幹事	茂木正治	S51	長野会
幹事	若林正清	S55	三重会
幹事	渡邊和洋	S46	東京会
会計監査	砂田和郎	S36	東京会

## 行事報告

平成 13 年 12 月 1 日（土）午後 4 時より、フィオーレ東京において「講演と懇親の夕べ」が開催された（35 名参加）。

第 1 部は、全国社会保険労務士会連合会会長大槻哲也氏を講師にお招きしての講演（講演の主な内容は、日税連との協議や法改正などの会の動向について）。



第 2 部懇親会は、小林会長の開会の挨拶に続いて、来賓の大槻哲也会長からエールの交換を兼ねてご祝辞をいただいた（大槻会長は明大野球部のご出身でもある）。

挨拶の後、遠路福井からお越しの藤野幹事の音頭で乾杯。続くアトラクションでは、その道 40 年のキャリアをお持ちの東京アマチュア・マジシャンズクラブ研究部長彌永眞氏（慶応出身）により、筋金入りの“マジックショー”をご披露いただいた。和やかな懇親の後、校友会事務局山本浩氏の音頭で参加者全員が肩を組んで校歌を斉唱。さらに、エールの交換で幕を閉じた後は、小松茂樹氏（連合会副会長）の案内で約 20 名が近くの中華料理店“四季”での二次会に繰り出し、積もる話に花を咲かせた。

## ホット・ニュース!

最近の社会保険労務士会の動向についてお知らせします。

### 1. 日税連との“付随業務の範囲”についての確認書

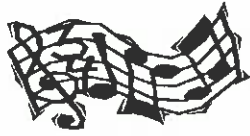
「付随業務」（税理士が付随業務として行うことができる社会保険労務士法第 2 条第 1 項第 1 号から第 2 号までに掲げる業務）の範囲について、全国社会保険労務士会連合会と日本税理士会連合会との間で、平成 14 年 6 月 6 日、次の内容の確認書が締結されました。

○付随業務の範囲は、「租税債務の確定に必要な事務」に限定される。

○労働社会保険の行政機関等への「提出代行」および「事務代理」は、付随業務ではない。

### 2. 第 6 次社会保険労務士法改正

社会保険労務士法の第 6 次改正が、今国会に上程されていますが、その主な内容は、①法第 23 条の撤廃、②労働局と地労委のあっせん代理権、③社会保険労務士法人、④報酬規程の廃止、⑤国民による社会保険労務士の懲戒の申立てなどです。



## 会員の声



### 焦らず、急がずゆっくりと…

昭和 51 年法学部卒、開業 15 年目です。子供達（長男・長女）がそれぞれ京都の大学へ行ってしまい、東京とは縁遠くなると思いきや、稲門会が東京で創立され嬉しい限りです。焦らず、急がずゆっくりと育てていきましょう。

【茂木正治さん・S51 卒・長野会】

### 変えたいことが多い…！

社労士業云々と大上段に構えるほどのものもなく、楽しみながら手狭にと心がけています。嬉しかったことは某銀行の定期年金相談。寂しいのは、将来的に金融機関はこの部門に投資しなくなるだろうということ。

事務組合という謎の存在。温存する業界で新人は育つのでしょうか。行政協力の意義、形式第一の窓口。変えたいことは多いのです。

【仁科静子さん・S41 卒・埼玉会】

### 待ちに待った社労士稲門会

社労士稲門会会報創刊誠におめでとうございます。私は常々、社労士だけなぜ稲門会がないのだろうかと不思議に思っておりました。昨期待望の社労士稲門会が設立され、私のような若輩者も、輪の中に入れていただき、感謝の念にたえません。これからもよき先輩達に囲まれながら、一人前の社労士になれるように努力したいと思います。

【蒲生秀晴さん・H5 卒・東京会】

### 稲門同士、心強く…

企業の人事部とコンサルティング会社での経験を活かして、3号業務を中心に行っています。開業して9年経過しましたが、同業者や顧問先を始め、稲門の同窓生とお会いすることも多く、心強く感じ励みとしています。

【二宮孝さん・S54 卒・東京会】

### 一会員、そして幹事として…

社会保険労務士として、稲門会が設立されたことを、一会員の立場で大変嬉しく思っています。個人的には、昨年9月に事務所の移転を行い、少しずつですが事務所としての形を整えてきたところです。細かいところまで自分でやらなければならないことが多く、大変忙しい思いをしてきました。

稲門会では幹事の一員でありながら欠席がちで申し訳ありません。落ち着いた時点でまた積極的に参加するつもりです。

【古野利明さん・S35 卒・東京会】

### 監督署で相談受付

私は、平成4年に社会保険労務士として登録いたしまして、本年で11年目となっております。現在は、月に15日間の予定で菊池監督署で、第三者行為災害の受付・相談等を担当いたしております。

【荒木靖雄さん・S36・熊本会】

### 「心のふるさと」に…

開業時に社会保険労務士稲門会がなく、仕方なしに行政書士稲門会に入会してい



た私は、堀口、坂井両現副会長からのご連絡により、設立発起人の一員として最初の中野サンプラザでの打合せ会から参加させていただいています。日本全国の稲門出身社会保険労務士の「心のふるさと」にできればいいなと念じております。今後ともよろしく願います。

【砂田和郎さん・S36卒・東京会】

#### 切磋琢磨して稲門パワーを発揮！

社会保険労務士稲門会の会員が、お互いに切磋琢磨して、労働福祉の向上と発展に大い貢献したいものです。また、稲門パワーを発揮して社会保険労務士会によりよい制度を目指して頑張りましょう。

【原口又三郎さん・S38卒・埼玉会】

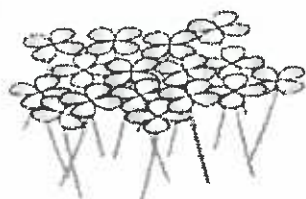
#### 散じてから、再び集結…

稲門出身の社労士が集う場所があるということはいいことだ。

散じてからの道程は各人ジグザグだったと思うが、とにかくまた、集うことができた。

在学中、早慶戦で声を枯らし、授業料値上げ反対闘争などに体を熱くした方も多いのではないか。いろいろな話をしたいと思う。

【鈴木隆さん・S47卒・東京会】



#### 私と社会保険労務士

社会保険労務士との出会いは、社会保険労務士法が施行されて以来です。私が健保組合に勤めていた関係上、社労士資格取得の必要性を感じました。何回かの試験の結果、社会保険労務士となることができました。その後は、東京都社労士会、退職後は神奈川県社労士会に加入し、各種研修会に参加し研鑽に励んでいます。また、横浜校友会に属しており、月二回の定例会で、当会の社労士と交流を深めています。最後になりましたが、社労士稲門会のますますの発展を祈念いたします。

【君和田久夫さん・S36卒・神奈川会】

#### 母校のすばらしさ、再認識

稲門会の忘年会に出席し、自分の母校は、すばらしい人材を輩出し続けている伝統ある学校だということに、改めて気づかされました。爾来、意を新たに社労士業務に取り組んでおります。

【岩沢誠敬さん・H1卒・東京会】

#### 早稲田はどこにでも…！

私が学生の頃は、よく先輩から「早稲田は何処にでも多くの先輩がいる」と言われました。しかし、社労士になると、先輩があまり見当たらずに残念に思っていました。この度この会が先輩の言葉を実現してくれることを願っています。

【田口紘一さん・S41卒・東京会】

ご投稿ありがとうございました。

## 早稲田カード会員に対する社会保険労務士紹介サービス業務

早稲田カードは、大学ならびに校友会が大手クレジットカード会社と提携して発行している校友のためのカードです。発行枚数は6万枚を超えています。

会員のカード利用に応じて、カード会社から提携手数料が還元され、「早稲田カード奨学金」として、経済的に修学困難な在学生に対し、一人年間30万～36

万円を給付しています。

上記のような趣旨をもつ早稲田カードの会員に対する特典の一つとして、下記のような協定を平成14年5月22日に締結し、「社会保険労務士紹介サービス」を開始しました。

是非、ご協力をお願いいたします。

### 協 定 書

学校法人 早稲田大学（以下甲という）と社会保険労務士稲門会（以下乙という）は、甲の「早稲田カード会員に対する社会保険労務士紹介サービス業務」が円滑に運営できるよう、以下の条項により、協定を締結する。

- 第1条 甲は早稲田カード会員から社会保険労務士を紹介するよう依頼があった場合、すみやかに、乙の事務局と連絡をとり、所定の「社会保険労務士紹介依頼書」を、必要事項記入の上、FAXにより、乙の事務所に送信する。
- 第2条 乙は、前条の送信を受けた場合、すみやかに依頼者本人と連絡をとり、依頼の趣旨を十分確認した上、意見を付して乙が適当と考える地区の責任者と連絡をとり、その「社会保険労務士紹介依頼書」をFAXにより送信する。
2. 前項の送信を受けた地区の責任者はすみやかに、依頼の趣旨に適合と考えられる同地区の会員を選定し、その会員と連絡をとり、前項の「社会保険労務士紹介依頼書」をFAXにより選定社会保険労務士に送信する。
  3. 選定社会保険労務士は、当該事件結果を遅滞なく「社会保険労務士紹介依頼書」にその事件顛末を記入の上、FAXにより、地区の責任者に送信する。
  4. 地区の責任者は依頼者の要望が最終的に達成されたことを確認し、「社会保険労務士紹介依頼書」を、顛末記入の上、FAXにより、乙の事務局に送信する。
- 第3条 甲及び乙は、依頼者と選定社会保険労務士との間の報酬料金決定及び授受には一切関与しないものとする。
- 第4条 本協定の解釈に疑義が生じた場合または定めのない事項が生じた場合には、甲乙協議により決定するものとする。
- 第5条 本協定の有効期間は、本日から起算して1年間とし、甲乙いずれか一方から期限前3ヶ月までに協定終了の意思表示がなされない場合には、自動的に1年間更新するものとし、以後も同様とする。

## 入会のご案内

社会保険労務士稲門会のますますの発展のため、1人でも多くの方の入会をお待ちしております。会員皆様のお知り合いで、まだ入会されていない方がございましたら、是非ご紹介ください。

### 入会方法

社会保険労務士稲門会事務局にご一報ください。事務局から入会申込書をお送りいたします。入会申込書をご提出いただいた後、改めて、年会費（5,000円）振込用紙、会則、会員名簿をお送りいたします。

連絡先：社会保険労務士稲門会事務局  
ヒューマンテック経営研究所内  
Tel 03-3543-6326 Fax 03-3543-6169

## 会員数と内訳

【平成14年6月5日現在】

所 属	会員数
秋田会	1
栃木会	1
群馬会	1
埼玉会	17
千葉会	1
東京会	86
神奈川会	5
長野会	1
福井会	1
愛知会	2
三重会	1
大阪会	1
熊本会	1
無所属	2
合 計	121

- 開業社会保険労務士 74名
- 勤務社会保険労務士 41名
- その他 6名
- 男性会員 113名 女性会員 8名

## 稲門会の活動報告

### 幹事会活動報告

#### 【第1回】

日時：平成13年7月23日（月）  
議題：○創立総会の報告と反省  
○今後の活動（事業計画の具体化）について

#### 【第2回】

日時：平成13年10月18日（木）  
議題：○忘年会の具体化  
○会報の発行について

#### 【第3回】

日時：平成13年11月19日（月）  
議題：○講演会について  
○懇親会について

#### 【第4回】

日時：平成14年3月8日（金）  
議題：○第2回定時総会について  
○会報の発行について

#### 【第5回】

日時：平成14年4月26日（金）  
議題：○第1回広報委員会の報告  
○第2回定時総会について  
○会報の発行について

#### 【第6回】

日時：平成14年6月5日（水）  
議題：○第2回定時総会について  
○会報の発行について

### その他の活動報告

この間に、関口幹事のご尽力で、メール・リンクが開設されました。また、四士業（税理士・司法書士・行政書士・社会保険労務士）の会長、幹事長等の意見交換会を行ったほか、税理士稲門会や行政書士稲門会の総会に小林会長が出席するなどの活動を進めてきました。

## 「創立125周年記念事業募金」ご協力をお願い

早稲田大学は、創立125周年にあたる平成19年を早稲田大学第二の建学と位置づけ、「グローバル・ユニバーシティの実現」を目標に、新たな展望のもと抜本的な改革を推進しています。早稲田の新しい時代を築くために、会員諸兄弟先生方の温かいご支援をお願いいたします。

### 【募金対象の記念事業】

1. 新しい学生会館の建設（平成13年7月26日竣工、「早稲田大学学生会館」と命名されました）
2. インテリジェント教育研究棟2棟の建設
3. 大隈講堂の多機能型文化ホールへの再生

【募金目標額】200億円（個人：100億円、法人：100億円）

※この寄付金は所得税の寄附金控除の対象となります。

【お申し込み・お問い合わせ先】創立125周年記念事業募金局 TEL03-3204-0125

【E-mail】[waseda125@list.waseda.ac.jp](mailto:waseda125@list.waseda.ac.jp)

【URL】<http://www.waseda.ac.jp/waseda125/>

## 第2回定期総会のおしらせ

社会保険労務士稲門会第2回定期総会を下記のとおり開催しますので、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

### 記

【日 時】 平成14年7月5日（金）  
第1部 講演会 午後6時～7時  
第2部 定期総会 午後7時～7時20分  
第3部 懇親会 午後7時30分～9時

【会 場】 リーガロイヤルホテル東京  
東京都新宿区戸塚町1-104-19  
TEL 03-5285-1121

【会 費】 一万円

【連絡先】 社会保険労務士稲門会事務局  
東京都中央区銀座2-12-3 ライトビル6F  
ヒューマンテック経営研究所内  
TEL 03-3543-6326 Fax 03-3543-6169

★平成14年度忘年会を、11月30日（土）に開催いたしますので、こちらへのご出席もお待ちしております。

## 編集後記

広報担当を仰せつかって以来、一個人としてはどうにもならないことが判っていても、やきもきする毎日でした。案ずるよりは産むが易しという諺がありますが、焦らず急がず、周りの先生方の協力を得て少しずつ前向きに、そしてより充実した会報とより多くの先生方に愛される会報に少しでも近づきたいと念願するものです。

【東京会・堀口 利】

## 【発行】

### 社会保険労務士稲門会

《事務所所在地》

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-3  
ライトビル6F

ヒューマンテック経営研究所内

TEL 03-3543-6326

Fax 03-3543-6169